

再評価調書

NO. 1

事業名	福井駅付近連続立体交差事業	事業区間	福井市みのり1丁目～開発町			
事業目的						
福井駅付近のJR北陸本線およびえちぜん鉄道を高架化することにより、踏切を除却し東西交通の円滑化を図るとともに、東西に分断された市街地を一体化させ、活力と潤いのある県都を創造する。						
全体事業内容						
JR北陸本線高架延長 3.3km えちぜん鉄道高架延長 2.5km 踏切除却 5箇所 交差道路 27路線 高架側道 5路線						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成4年度	平成4年度	平成8年度	平成30年度		
事業費（千円）		全体事業費	執行済み額 (H24年度まで)	進捗率 (H24末)	残事業費 (H25以降残額)	備考
予 算 額		62,800,000	49,565,734	78.9%	13,234,266	
財 源 内 訳	国 庫	27,187,550	19,992,550	/	7,195,000	5.5/10 1/2 6/10
	県 他	35,612,450	29,573,184		6,039,266	
費用対効果		1. 04(総便益897億円 総費用860億円) 【参考:残事業B/C 4. 43】				
事業の進捗状況	H24までの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・H17年度にJR北陸本線の高架切替を行い、3箇所の踏切除却が完了。 ・えちぜん鉄道高架化については、新幹線高架の東側に単独の高架を建設することとし、H24年中の都市計画変更を目指す。 				
	H25以降残事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高架構造物等の設計を行い、早期のえちぜん鉄道高架化完成を目指す。 ・新幹線高架に仮線乗入後、宝永・仮日之出踏切の除却および交差道路7路線の整備を行い、東側高架に乗入後、清川踏切の除却および交差道路12路線 ・高架側道2路線の整備を進める。 				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	608億円 ※並行在来線乗入費用 25億円含む(連立対象外)	628億円	えちぜん鉄道高架化については、新幹線高架の東側に単独の高架を建設することになり、高架施設費用および仮線費用が増額となる。			
完成予定年度	平成29年度	平成30年度	新幹線の認可を踏まえ、えちぜん鉄道高架化については、新幹線高架の東側に単独の高架を建設することになったため、完了年度が平成30年度となる。			
事業を休止した場合の影響						
<ul style="list-style-type: none"> ・現在でも、えちぜん鉄道の踏切により1日3時間以上の踏切遮断が発生しており、踏切による交通渋滞が解消されない。 ・未整備となっている交差道路および高架側道が整備されないことになり、東西市街地の一体化が図られず、福井駅周辺のまちづくりが進まない。 ・福井駅周辺区画整理事業の将来の宅地等となる土地で、えち鉄の現在の地上線が運行を継続することになり、区画整理事業が完了できない。 ・県都の玄関口である東口駅前広場などが暫定形のままとなる。 						
備 考						